

☆学習目標

言葉による見方・考え方をはたらかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書(国語) 漢字のワーク 国語のワーク 文法のワーク 国語の新研究 活用資料集 (タブレット)	持ち物	教科書・ファイル・ノート 漢字のワーク 国語のワーク 文法のワーク 活用資料集
学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を正し、全体で挨拶する。 ②本時の目標: 今日の授業で行うことを説明する。 ③前回の復習(小テスト形式で行うこともある) ④音読: 範読(CDを使うこともある)や指名読みをしながら、漢字や語句の確認をする。 ⑤内容理解: 主題にそった発問をし、内容理解をすすめる。 ⑥板書: 内容の理解を確認しながら、黒板にまとめていく。 ⑦まとめ: 本時のまとめと振り返りを行う。 ⑧挨拶: 全体で挨拶する。 ※内容によって、班学習やグループ討議、発表をすることもある。 ※聞きとりテストや文法や漢字の小テストを行うこともある。 ※文法・書写を学習することもある。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に発言するように心がける。その際、挙手をし指名されてから発言すること。 ・また、発言内容は、伝わりやすいよう、言葉を考えて発言する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・他の人が読んだり発表したりしている時は、静かに聴く態度をとる。 ・班学習やグループ討議などには積極的に参加し、学習する。 ・プリントやワークシートは全て記入し、聞きとったことはメモを取るよう心がける。 ・古文は声を出して何度も朗読する。また、理解が深まるよう、暗唱にもとりくむ。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間中に授業の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・提出物は決められた期日までに必ず提出しましょう。 ・必ず黒板を写し、必要であれば先生の話をもメモしておきましょう。 ・あとで授業内容を思い出せるように工夫してノートを作るように努力しましょう。 ・しっかり先生の話聞いて、わからないことがあれば質問し、解決していけるようにしましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句の意味を自主的に調べましょう。 ・ノートを見直し、その日の授業の復習をしておきましょう。 ・何度も本読みをし、漢字もすらすら読めるようにしておきましょう。 ・日頃から本や新聞を読む習慣をつけましょう。 ・朝読も積極的に取り組むようにしましょう。 ・受験に備えて、1・2年生で習った漢字や文法の復習などをしておきましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			
月	単元計画	書写	試験
4	生命は二つのアザミ		
5	俳句の読み方、味わい方形		中間テスト
6	万葉・古今・新古今絶滅の意味		期末テスト
7	幸福について初恋恩返しの井戸を掘る	硬筆	
8			
9	場面に応じて話そう百科事典の少女		
10	観察・分析して論じようおくの細道		中間テスト
11	論語何のために「働く」のか		期末テスト
12	故郷文学史		
1	いつものように新聞が届いた文法復習		学年末テスト
2	レモン哀歌生ましめんかな3年間のまとめ		
3	最後の一句3年間のまとめ		

評価にあたって		
評価観点		評価の場面・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きが正しくできているか 文法事項についての知識、考え方を理解できているか 表現技法を理解できているか 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や文法などの小テスト 書写の作品 定期テスト
	<ul style="list-style-type: none"> 進んで意見を発表し、他者の意見をよく聞いて、自分の意見にいかしているか 場面や目的に応じて、話ししたり、暗唱したりしているか 文章の主題をとらえ、自分の意見や感想を文章で表現できるか 自分の意見の根拠を明らかにしながら文章を書いているか 登場人物の心情やその変化を捉えているか 文脈に即して筆者の主張を捉えているか 表現技法、指示語、接続 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発表など 班での話し合いの様子や発表 聞きとりテスト 授業中における作文など 言語表現 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加できているか 授業を聴いて、プリントをとっているか 提出物を出せているか 遅刻をせず、忘れ物もないか 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度(遅刻や忘れ物も含めて) ファイル、ワーク、宿題などの提出物 振り返りなど 文学作品の音読

※ あくまでも予定なので、変更になる可能性があります。

☆学習目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に参加し、公民としての資質・能力の基礎を養うこと

歴史：歴史的事象に関する関心を高め、わが国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解させ、それを通してわが国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、わが国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。

公民：個人の尊厳と人権の尊重、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書、資料集 ファイル、ワーク、新研究	持ち物	教科書 資料集 ファイル ノート 用語図鑑 筆記用具
学習の進め方	①挨拶：全体で挨拶をする。 ②前時の復習 ③本時の目標：資料集などで資料を提示されたものをみて、本時の学習内容にふれる。 ④学習：教科書にそって学習を進める。 ⑤定着：ワークシートに板書の記入などを行い、理解を深める。 ⑥まとめ：本時のまとめを行う。 ⑦挨拶：全体で挨拶をする。 ※班活動による学習を行うときもある。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読み込む ・「見る・聞く・書く」作業をしっかり意識して学習する。 ・班活動に積極的に参加し、それぞれ主体的に学習できるように意識する。 ・図や映像などは教材の内容の意味をよく考え理解する。 ・授業規律をしっかり守り、忘れ物をせず、学習環境を整える。 ・ノートやワークシート等のプリントの記入を徹底する。 ・自分が気になることがあれば、メモを取る。 ・授業の復習をしっかり行う 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける環境を整えましょう。(忘れ物をしないようにしましょう)。 ・提出物の期限を守りましょう。 ・板書はきちんと写しましょう。その上で、授業で説明されたことをメモするなどして、あとで見てもわかるようにしましょう。 ・授業中の教師の問いかけに対して、よく考えて積極的に発言しましょう。 ・わからないところは、授業中・休み時間・放課後に質問をして解決しておきましょう。
家庭	<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の授業内容は、その日のうちに復習しましょう。 ・テストのために、まとめノートを作るなどして学習内容を整理しておきましょう。 ・单元ごとに出されるワークや課題プリントを自宅で期限内に必ず行い、学習内容を整理しておきましょう。 ・出来事や特徴を理解し、文章にして説明できるようにしておきましょう。 <p><歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事の流れを整理し、それぞれの内容を覚えていきましょう。 ・写真・絵などの資料と出来事が関連付けられるように整理しておきましょう。 <p><公民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取りかたを理解し、実際のデータを読み取る練習をしましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	【歴史】第6章 二度の世界大戦と日本 -1 第一次世界大戦と日本 -2 大正デモクラシーの時代 【公民】第1章 私たちの生活と現代社会 -1 私から見える現代の日本社会 -2 現代社会の文化と私たちの生活		知識・技能 世界の諸地域や我が国の歴史に関し理解するとともに、様々な情報を調べ、効果的にまとめる技能が身についている。	・定期テストの指定問題 ・授業中の課題等 ・提出すべき課題 など
5	【歴史】第6章 二度の世界大戦と日本 -3 世界恐慌と日本の中国侵略 -4 第二次世界大戦と日本 【公民】第1章 私たちの生活と現代社会 -3 現代社会をとらえる見方や考え方	中間テスト		
6	【歴史】第7章 現代の日本と私たち -1 戦後日本の出発 【公民】第1章 私たちの生活と現代社会 -3 現代社会をとらえる見方や考え方	期末テスト		
7	【歴史】第7章 現代の日本と私たち -2 冷戦と日本の発展 -3 新たな時代の日本と世界 【公民】第2章 私たちの生活と政治 -1 日本国憲法の原則 -2 基本的人権の尊重		思考・判断・表現 社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断したりする力が身についている。	・定期テストの指定問題 ・授業中の課題等 ・授業中の話し合い活動 ・提出すべき課題 など
8	【公民】第3章 私たちの生活と政治 -1 民主政治のしくみ			
9	【公民】第3章 私たちの生活と政治 -2 国の政治のしくみ			
10	【公民】第3章 私たちの生活と政治 -3 地方自治と住民	中間テスト	主体的に学習に取り組む態度 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	・ファイル・ワーク・ノートなどの提出物 ・授業や活動の態度・成果 ・ワークシートなどのプリント ・長期休暇の課題 など
11	【公民】第4章 私たちの生活と経済 -1 消費と経済 -2 生産と労働	期末テスト		
12	【公民】第4章 私たちの生活と経済 -3 市場経済と金融 -4 政府の役割と国民の福祉			
1	入試問題演習	学年末テスト		
2	入試問題演習			
3	入試問題演習			

☆学習目標

(1)数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。

(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書・探究ノート・問題ワーク・プリント・3年間の振り返り問題集 (タブレット)	持ち物	教科書・探究ノート・ファイル・プリント・(ワーク)・(ワークの解答)
学習の進め方	①挨拶:服装を正し、全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック:教科書、ファイル、(ワーク)を持ってきているか確認する。 ③前回の復習:教科書・ファイルを用意し、前回学習した内容を復習する。 ④本時のめあて確認:本時の学習内容を確認する。 ⑤例題で練習:教科書の例題を確認し、必要に応じて板書を写す。 ⑥演習問題:例題を参考にしながら、演習問題をする。時間に余裕がある生徒は、理解を深めるためにワークなどの演習問題をする。 ⑦演習問題の解説:演習問題の解説を聞いて理解を深める。 ⑧本時の授業の振り返り:本時の授業での重要事項をまとめる。 ⑨挨拶:服装を正し、全体で挨拶をする。 ※計算や前回の授業内容の復習などの小テストを行うこともある。 ※内容によって、グループ討議や発表をすることもある。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにする。 ・きちんとした服装・姿勢で授業を受ける。 ・説明を聞くときと、板書を写すときの区別をつける。 ・分からないことがあれば、手をあげて質問をする。 ・教科書の演習問題に取り組んで終わりではなく、時間に余裕があれば積極的にワークなどの問題をする。 ・家庭で復習する習慣をつける。 ・提出物は必ず期日を守る。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は先生の話を聞き、しっかりと考える習慣をつけましょう。 ・プリントは必ず板書を写し、工夫しながら自分で後から見てもわかるようにしましょう。 ・忘れ物のないようにしましょう。 ・提出物は期日を守って、きちんと仕上げ提出しましょう。 ・わからないことがあれば質問することで解決し、自力で解けるようになるまで取り組みましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは1・2年生の復習に取り組みましょう。その中で自分が不得意な部分を見つけ、重点的に復習していきましょう。実力テストの勉強にもなります。 ・3年生の内容の復習をしましょう。 ・間違い直しをしっかりとしましょう。 ・わからないからといって投げ出さずに、1つの問題にじっくりと時間をかけ考えることも必要です。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価の場面・方法
4 5	第1章 式の計算 1. 多項式の計算 2. 因数分解 3. 式の計算の利用	中間 テスト	知識・ 技能	事象を数量や図形などで 数学的に表現し処理する 技能や知識を身につけて いる。	テストの指定問題
6	第2章 平方根 1. 平方根 2. 根号を含む式の計算	期末 テスト			
7	第3章 2次方程式 1. 2次方程式 2. 2次方程式の利用		思考・ 判断・ 表現	事象を数学的にとらえて 論理的に考察し表現した り、その過程を振り返っ て考えを深めたりするな ど、数学的な見方や考え 方を身につけている。	テストの指定問題
8					
9					
10	第4章 関数 $y=ax^2$ 1. 関数 $y=ax^2$ 2. 関数の利用	中間 テスト	主体的 に学 習に 取り 組 む 態 度	数学的な事象に関心をも つとともに、数学的活動 の楽しさや数学のよさを 実感し、それらを活用し て考えたり判断したりし ようとする。	授業態度 提出物 忘れ物
11	第5章 相似 1. 相似な図形 2. 平行線と線分の比 3. 相似の利用	期末 テスト			
12	第6章 円 1. 円 第7章 三平方の定理 1. 三平方の定理 2. 三平方の定理の利用				
1	第8章 標本調査 1. 母集団と標本	学年末 テスト			
2	3年間の復習				
3					

☆学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】

(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 プリント ワーク タブレット	持ち物	教科書 プリント ワーク
学習の進め方	①あいさつ：起立して授業の開始の挨拶を行う。 ②目標確認：本時の目標を確認する。 ③内容理解：教科書や実験器具などを使い今回の学習内容を理解する。 ④整理：教科書や板書をノートにまとめる。 ⑤まとめ：本時の理解を深めるために問題集やプリントを行う。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物に注意する。 ・積極的に質問に答えるようにする。 ・学習事項は、習った日にワーク・プリントで復習する。 ・実験を行うときはけがをしないように十分気を付ける。 ・提出物は必ず期日までに提出する。 ・家庭で復習する習慣をつける。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・質問には積極的に答えていきましょう。わからないところはその日のうちに先生に聞きましょう。 ・図や表などで習ったことがイメージできるようにしましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日理科を勉強しましょう。(短くても良いので) ・その日の学習はその日のうちに復習し、自分の力にしましょう。 ・ワークをならったところをこつこつやりましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	[物質]化学変化とイオン		知識・技能	行動観察, 発言, 発表, パフォーマンステスト, レポート, ワークシート, 小テスト・ 定期テストなど
5	単元導入, 学ぶ前にトライ! 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩 力だめし, 学んだ後にリトライ! 化学電池と未来	中間 テスト		
6	[生命] 生命の連続性	期末 テスト	知識・技能	
7	単元導入, 学ぶ前にトライ! 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化 力だめし, 学んだ後にリトライ! 鳥類は恐竜から進化した?			
8			思考・判断・表現	発言, 発表, ワークシート, 小テスト・定期テスト など
9	[エネルギー] 運動とエネルギー			
10	単元導入, 学ぶ前にトライ! 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用 力だめし, 学んだ後にリトライ!	中間 テスト		
11	[地球]宇宙を観る	期末 テスト	思考・判断・表現	
12	単元導入, 学ぶ前にトライ! 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方 力だめし, 学んだ後にリトライ! 大きさをこえてさぐる太陽系の歴史			
1	[環境]自然と人間	学年末 テスト	主体的に学習に取り組む態度	行動観察, 発言, 発表, 自己評価, レポート, ワークシート, など
2	単元導入, 学ぶ前にトライ! 1章 自然界のつり合い 2章 ささまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして 力だめし, 学んだ後にリトライ! かけがえのない地球とともに			
3				

☆学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。

(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	中学生の音楽2・3下 アルトリコーダー	持ち物	教科書 ファイル アルトリコーダー 筆記用具
学習の進め方	<p>①挨拶: 服装を整えてあいさつをする。 ②忘れ物チェック: 教科書2冊、ファイル、アルトリコーダー、筆記用具の準備しておく。 ③本時の目標: 本時に何を学ぶか把握しておく。 ④リコーダー練習: 本時の目標にむけて練習する。 ⑤歌唱練習: 本時の目標にむけて練習をする。 ⑥挨拶: 服装を整えてあいさつをする。 *実技テストやパート練習があるときは、待っている間に課題プリントをする。</p>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにする。 ・提出物は決められた期日までに必ず提出する。 ・積極的に歌、リコーダーの練習に取り組む。 ・わからないことがあれば質問する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱では、互いのパートをよく聞き、歌詞の内容を味わいながら歌いましょう。 ・アルトリコーダーでは、これまで学習した事をふまえてそれぞれの曲に合う音色で吹きましょう。 ・授業中に気づいた演奏に関する注意事項やアドバイスを楽譜に書き込みましょう。 ・わからないことがあれば質問し、解決していけるようにしましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と授業で使ったプリントで復習しましょう。 ・実技テスト前は、学習したことを思い出し各自で練習しましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	心の歌 歌詞の美しさを味わって歌おう アルトリコーダー奏	定期 テスト	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期テスト ・実技テスト(歌・リコーダー)
5	曲の良さをプレゼンテーションしよう 名曲を味わおう			
6	合唱の響きを楽しもう			
7	曲想の変化を生かして歌おう 心の歌 合唱の喜び 合唱コンクールにむけて	実技 テスト	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・鑑賞プリントの内容
8				
9	作曲者の思いを感じながら聴こう 合唱コンクール曲(課題曲・自由曲)			
10	音楽の歴史を知ろう			
11	実技テストに向けて 民族音楽を知ろう	定期 テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、提出物、忘れ物 ・課題プリント
12	世界の諸民族の音楽に触れよう			
1	日本の伝統音楽に触れよう 3年間のまとめ			
2	合唱の喜びⅡ	実技・ 学年末 テスト		
3				

☆学習目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
- ・意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表している。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書、美術資料、クロッキー帳、ワークシート	持ち物	教科書、美術資料、クロッキー帳、絵の具(必要な場合)、鉛筆
学習の進め方	①あいさつ ②本日の授業の目標、活動内容の確認 ③活動: 描画活動、造形活動、鑑賞活動 ④本日の活動の振り返りと次回の授業の連絡をする ⑤あいさつ		
学習上の留意点	・提出物(作品やプリント)は必ず期日までに完成させて提出する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・用具を大切に扱い、後片付けも必ず行う。 ・分からないことがあれば手をあげて質問する。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・美術は授業時数が少ないために、取り組める課題数に限りがあります。そのため、作品のひとつひとつ、プリントの一枚一枚が評価に対し大きな影響を及ぼします。提出が要されるものについては必ず提出しましょう。 ・制作を円滑に進めるために、必要な用具や資料をあらかじめ準備して持ってきてよう。 ・美術の苦手意識があっても一生懸命制作に取り組もう。上手い下手は評価の全てではありません。作品への手数、作業量が実は重要です。 ・思ったように表現できなかったりアイデアが浮かばない時は教科書や資料集を見たり、質問したりしましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの学習では、作品や作者の名前、技法などの語句を覚えよう。その際は教科書や美術資料に載っている画像にも目を通しましょう。 ・実技作品の完成が提出期限に間に合いそうにない場合、持ち帰るなどして制作を進めること。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4			観点Ⅰ 知識・技能 ●定期テスト「観点Ⅰ」の鑑賞問題 ●材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じて工夫することができる	●定期テスト「観点Ⅰ」の鑑賞問題の得点 ●実技課題の提出
5	●実技「自画像」[絵画] 鏡を見て自分の姿を描く ⇒作品を提出する	定期 考査		
6	●鑑賞「西洋美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する			
7				
8			観点Ⅱ 思考・判断・表現 ●定期テストの「観点Ⅱ」の実技問題～完成度、発想 ●制作に向けて、自主的に参考になるような資料を準備する ●制作を円滑に進められるよう、事前に構想を練っている ●鑑賞プリントの空欄に入る語を埋め、記述することができる	●定期テストの「観点Ⅱ」の実技問題の得点 ●発想の数々が作品に重層的に表現されている ●自らの発想の工夫を言葉や文章で説明することができる ●鑑賞プリントの提出
9				
10	●実技「連合スポーツ大会のタオルデザイン」[デザイン] ⇒デザイン用紙を提出する ●実技「パッケージデザイン」[デザイン] 人に伝えるためのデザインを考える ⇒作品を提出する			
11	●鑑賞「西洋美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する			
12			観点Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度 ●授業に遅刻をしない ●忘れ物をしない ●道具を適切に用いている ●貸し出された道具をきちんと返却する ●自分の机の周りを汚さず片付けている ●長期休業間の宿題～完成度、発想	●遅刻や忘れ物、道具の扱い方については随時観察する ●長期休業間の宿題の提出
1	●実技「ポストカードイラスト」[デザイン] テーマにそって葉書に絵を描く ⇒葉書を提出する	定期 考査		
2	●実技「卒業制作」[工芸] 3年間の集大成として作品をつくる ⇒作品を提出する			
3	●鑑賞「現代美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する			

☆学習目標

(領域D) 情報に関する技術

- 情報に関する技術が、暮らしや環境保全、産業等の中で活用されていることを気付かせ、関心をもたせる。
- 身近にある情報の技術について知らせるとともに、そのはたらきについて関心を持たせる。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書	持ち物	教科書・ノート
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を見る。(学習内容の確認する。) ・授業ノートにまとめる。(板書を写す、メモを取る。) ・実技(目的や手順に従って安全に実習を進める。) 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないか授業の始めに毎時間チェックをする。 ・実習等の実技の際は安全面に注意する。 ・定期的に授業ノートを提出する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ノートの準備をしておきましょう。(授業に対する意欲・態度点に入ります。) ・黒板の板書は必ずノートに写しておきましょう。(テスト勉強に役立つ。) ・教科書の大切な個所には赤線を引いておきましょう。(テストによく出る。) ・提出物は必ず決められた日までに出示しましょう。(提出点が悪くなります。) ・解らないところがあれば、必ず質問して解決しておきましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を家庭で思い出し、実践できる場所はトライしてみる。 ・試験前は、ノートに書いたところを中心にプリントや教科書の内容をしっかりと勉強する。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	6. デジタル作品の設計と製作	定期試験	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> 目的や条件に応じて、情報手段を適切に選択し、活用できている。 多様なメディアの複合、表現や発信ができている。 簡単なプログラムを作成できている。 コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組み、情報通信ネットワークにおける安全な情報利用の仕組み、メディアの特徴と利用方法、コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについて知識を身に付けている。 情報に関する技術と、社会や環境とのかかわりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習中の作業の様子 授業中の取り組みの様子 定期試験 提出物(ノート・課題プリント)
5				
6				
7				
8	7. プログラムによる計測・制御	定期試験	思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> 使用目的や使用条件に即してデジタル作品の設計を工夫している。 目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作品(ワード・エクセル・ペイント等のソフト使用実習を含む)の加工および製作過程 製作品(ワード・エクセル・ペイント等のソフトによる作品を含む)の完成度 定期試験 提出物(ノート・課題プリント)
9				
10				
11				
12				
1	8. 情報に関する技術とわたしたち	定期試験	主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> 情報に関する技術について関心をもっている。 デジタル情報を活用する際に、著作権等の権利を意識している。 情報に関する技術を適切に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組みの様子 教科書・ノート等の忘れ物 提出物(ノート・課題プリント)
2				
3				

☆学習目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書	持ち物	教科書 ファイル (実習で使用するものは事前連絡)
学習の進め方	<p>[教室での授業]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイルを確認する。 ③本時の目標: 教科書の内容を見て学習内容を確認する。 ④内容理解: 板書の内容や、気づいたことをプリントにまとめる。 ⑤まとめ: 本時の重要事項をまとめる。 ⑥プリント提出 ⑦挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 <p>[実習を行うとき]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、プリントを確認する。 ③本時の目的や手順を確認する。 ④実習: 安全に気を付けて実習を行う。 ⑤後片付け ⑥挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにする。 ・毎時間授業後にプリントを提出する。欠席をした場合も、プリントを見せてもらい、必ず提出する。 ・提出物は必ず期日を守って提出する。 ・実習等の実技の際は安全面に注意する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・プリントは黒板に書いてあることだけでなく、自分の考えや、大切だと思うことをメモしておきましょう。 ・提出物は決められた日に必ず提出しましょう。 ・わからないことがあれば、積極的に質問しましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を家庭で思いだしたり、実践してみましよう。 ・テスト前は、プリントに書いたことを中心に、教科書の内容もしっかりと勉強しましょう。(後回しにすると、時間が無くなるので早めにとりかかろう)

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	幼児の生活と家族	定期 テスト	知識・ 技能	提出物A(課題プリント) 作品 定期テスト
5	幼児の心身の発達			
6	幼児の生活習慣 幼児と遊び			
7	幼児の発達と遊び	定期 テスト	思考・ 判断・ 表現	提出物B(課題プリント) 作品 定期テスト
8				
9	すこやかな成長のために			
10				
11	家族と家庭生活	定期 テスト	主体的 に学 習に 取 り 組 む 態 度	提出物C(課題プリント) 授業態度 実習の様子
12				
1	消費生活と環境	定期 テスト		
2	生活の課題と実践			
3				

☆学習目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。

②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。

③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

④個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	保健の教科書 保健ノート 実技本	持ち物	保健：教科書、保健ノート、 実技本 体育：体操服、帽子、 体育館シューズ
学習の進め方	①挨拶：活動場所に集合し、服装を正し、整列・挨拶をする。 ②出欠の確認：出欠・見学者・遅刻者・忘れ物等を確認する。 ③本時の授業内容説明：前回の授業をふり返り、本時の目当てを確認する。 ④準備運動：ランニング、ラジオ体操、補強運動を行う。 ⑤展開：種目に取り組む。 ⑥本時のふりかえり：集合、整列し、本時の授業をふり返る。 ⑦挨拶：次回の授業連絡をし、服装を正し、挨拶をする。 ★保健の授業に関しては教室で行います。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意する。 ・仲間と協力して学習をすすめる。 ・何事にもチャレンジする。 ・その運動の歴史や特性に触れる。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、忘れ物、授業態度などに気をつけましょう。 ・実技テストに向けて日々の授業の練習を大切にしましょう。 ・定期テストでは、保健の授業で学んだことを復習しましょう。 ・授業中の自己評価カードなどにポイントなどを記入しましょう。 ・球技などの試合の時は、チームでどのように課題を解決するか相談しましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の前日に必要なものを準備し、忘れ物がないようにしましょう。 ・授業で学習した内容の復習をしましょう。 ・ランニング、ストレッチ、腹筋、腕立て伏せなどの筋力トレーニングを行いましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画				評価にあたって			
月	単元計画			試験	評価観点	評価の場面・方法	
	男子	女子	保健(男女)				
4	集団行動 体づくり運動 陸上競技	集団行動 体づくり運動 バスケット ボール	・体育に 関する知識	スポーツテスト 実技テスト 定期テスト	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 正しいフォームで行うことができる。 正確な動作である。 速く走る、遠くへ跳ぶ等ができる。 筆記テスト ルールや使用する道具の名称をきっちり言える。 安全に留意して運動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> チェック項目を設けての実技テスト。 個人設定目標を達成することができる。 筆記テストの点数 日々の授業や、ワークシートを用いる。 指示に従ってきっちりと動く。
5							
6	バレーボール	走り高跳び 走り幅跳び	・保健 (健康な生活と病気の予防③)		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 試合プレーでの判断力、思考力 レポート プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 試合中 集団行動
7							
8							
9	ソフトボール	短距離走、リレー	・体育に 関する知識	実技テスト 定期テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 出席点 忘れ物 遅刻 声を出す ラジオ体操 保健ノート プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 出欠確認時 日々の授業
10	器械運動	サッカー					
11							
12	長距離走	長距離走	・保健 (健康と環境)				
1	サッカー	バドミントン		実技テスト 定期テスト			
2		アルティメット					
3	アルティメット	ダンス					

☆学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書、ノート、ワーク、ファイル、基本文マスター、リスニング、整理と研究	持ち物	教科書、ノート、(ワーク)、ファイル
学習の進め方	<p>①挨拶：英語であいさつする。 ②忘れ物チェック：忘れものがあれば、チェックすることもある。 ③アイスブレイキング等：英語でいくつか質問をして、それに対して答える。など ④本時のめあて：本時に何を学ぶか最初に把握しておく。 ⑤文法説明：文法を学ぶことで、基礎を築く。 ⑥練習や活動：習ったことを文法を使い、アクティビティや練習問題をする。 ⑦新出単語の練習：繰り返し発音し、ノートに練習する。 ⑧文章の内容確認：重要表現や本文内容の状況把握等を確認しまとめる。 ⑨文章の練習：いろいろなリーディングパターンを使って読む練習をする。 ⑩本時の授業の振り返り：授業の内容を振り返る。 ⑪挨拶：英語であいさつする。 *単語小テストや暗唱テスト、スピーチなども行う。</p>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な持ち物を持ってくる。 ・宿題がある場合は、必ず終わらせてから持ってくる。 ・一度もらったプリントはなくさない。 ・発音の練習は、何度も練習する。 ・文法事項は、習った日にワークで復習をして理解を深める。 ・授業で取り組んだプリント(ファイル)、ワークは、定期テストまたは、長期休暇後提出する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにしましょう。 ・授業をしっかりと聞いて、大きな声で発音し、読みましょう。 ・授業で学ぶことは、授業中に覚える努力をしましょう。 ・ペア学習、班活動等の対話練習、活動練習は積極的に活動しましょう。 ・ノートは丁寧な字で書きましょう。 ・宿題や提出物は自分のためのものです。期日を守って行いましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年の復習を家庭でしましょう。余裕がある生徒は、3年の予習・復習もしましょう。 ・単語帳を何度も練習してまずは、単語力をつけましょう。毎日10個以上覚えましょう。 ・英語力を身につけるには、毎日英語で日記をつけるのが効果的です。 ・毎日、英語の勉強をしましょう。(時間は、人によって異なってもいいので毎日することが大切です。) ・実力テストの対策も合わせていきましょう。 ・英語の本読んだり、テレビやラジオの英語番組を見たり聞いたりしましょう。 ・得意な人はどんどん長文を読み、わからないところを学校で質問しましょう。 ・授業で習った単元に当たるワークの範囲はその日のうちに取り組むようにしましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	Unit 1 School Life Around the World Daily Life 1 ディスカッション Unit 2 Our School Trip	中間テスト	知識・技能 ・各単元の文法事項と使い方を理解できるか ・難しい文法事項などを正しく理解しているか	・定期テスト時での該当問題 ・単元小テスト
5				
6	Daily Life 2 留守番電話 Unit 3 Lessons From Hiroshima Active Grammar 1 現在完了形/現在完了進行形	期末テスト		
7	Let's Read 1 From the Daily of Kawamoto Itsuyoshi World Tour 1 Living With Animals You Can Do It! 「過去」と「現在」の相違点を挙げよう			
8	Unit 4 AI Technology and Language Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True Daily Life 3 ポスター		思考・判断・表現 ・既習の文法を入れて自分の考えを表現できるか ・自分の将来の夢を英語で伝えることができるか ・文化や生活について客観的に英語で紹介できるか ・表などを読み取り、質問に対して適切に答えることができるか	・定期テストでの該当問題 ・リスニングテストとパフォーマンステスト(暗唱・スピーキング) ・授業時での英作文 ・単元ごとのレポートの提出
9				
10	Unit 5 Plastic Waste Daily Life 4 ニュース	中間テスト		
11	Unit 6 The Chorus Contest Active Grammar 2 後置修飾	小テスト 期末テスト 発表テスト		
12	You Can Do It! 2 学校に必要なものを考えて意見で伝えよう Unit 7 Tina's Speech	小テスト 発表テスト		
1	World Tour 2 How Do We Live? Let's Read 3 Changing the World Unit 8 Goodbye, Tina	学年末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ・授業に参加出来ているか ・しっかり授業を聴いているか ・正しく発音しているか ・振り返りができているか	・単元ごとのノート・振り返りシート、定期テストごとのファイル・ワークの提出 ・長期休暇での宿題の提出物
2	You Can Do It! 3 3年間を締めくくる言葉を考えよう Let's Read More 1~3 高校入試に向けて			
3	高校入試に向けて			